



笛吹市

議会だより

平成24年10月22日発行

2012

Vol.32

GIKAI DAYORI



FUEFUKI CITY

日本一のぶどうの郷で おいしく楽しく…

9月1日～11月30日の間、「ぶどうEXPO 2012」が開催され、秋の楽しいひとときとともに、ぶどうのフレッシュなおいしさと、日本一のぶどうの生産地ならではの情報を全国各地に発信します。





笛吹市

議会だより 2012 Vol.32

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

荻野市長・行政報告 3

9月定例議会で決まったこと 4 ~ 7

会派代表質問(6会派) 8 ~ 14

 笛政クラブ 正鶴会 正正会
 日本共産党 新和会 市民派クラブ

一般質問(6人) 15 ~ 17

 亀山 和子議員 大久保俊雄議員 北嶋 恒男議員
 新田 治江議員 中村 善次議員 志村 直毅議員

委員会レポート 18 ~ 19

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 20

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



議会日誌 GIKAI diary

6月 June

- 1日 峡東ごみ処理組合全員協議会、臨時議会
石和温泉観光協会定期総会
- 6日 総務常任委員会
- 7日 笛吹市体育協会総会
- 11日 議会運営委員会
- 18日 全員協議会、第2回定例会本会議
議会広報編集委員会
- 19日 第2回定例会本会議(一般質問)
- 20日 建設経済常任委員会(台風4号被害状況現地調査)
- 21日 第2回定例会本会議(一般質問)
議会改革検討小委員会
- 22日 各常任委員会
- 25日 各常任委員会
- 28日 議会運営委員会
全員協議会、第2回定例会本会議(最終日)
- 29日 長野県豊丘村議会議員行政視察来庁

7月 July

- 4日 笛吹市社会を明るくする運動推進大会
- 5日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 8日 山身連市町村議会議員懇談会
- 9日 山梨県市議会議長会親睦ゴルフ大会
- 10日 議会広報編集委員会
- 11日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会
- 17日 東山梨行政事務組合全員協議会、臨時議会
- 18日 長野県下伊那郡町村議会議長会行政視察来庁
- 19日 甲府・峡東地域ごみ処理組合議会視察研修
定例全員協議会

- 24日 議会改革検討小委員会
- 26日 モンゴル国南戈壁県グランザドガド市訪問団歓迎レセプション
- 27日 岐阜県伊那市・中津川市議会委員会行政視察来庁
渋川改修促進期成同盟会総会

8月 May

- 1日 リニア山梨県期成同盟会総会
- 3日 東八代広域行政事務組合議会全員協議会
- 9日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会
- 16日 甲斐いちのみや大文字焼き
- 21日 長野県議会議員会派行政視察来庁
石和温泉花火大会
- 27日 議会運営委員会
議会改革検討委員会

9月議会・会期日程

- 9月3日(月) 全員協議会
開会
- ・本会議
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・市長行政報告
- ・提出議案の説明
- ・決算審査報告
- ・総括質疑・付託
- 9月5日(水)
- ・代表質問
- 9月6日(木)
- ・一般質問
- 9月10日(月) ~ 20日(木)
- ・各常任委員会 付託案件・事件
審査
- 9月26日(水) 議会運営委員会
全員協議会
- ・本会議
- ・各委員会の審査報告
- ・追加議案委員会付託・審査報告
質疑・討論・採決
閉会

荻野市長の行政報告



清々しいまちづくり推進 ご協力に心より感謝いたします

大型施設整備事業の状況

平成16年11月に、多くの市民から信託をいただき、初代市長に就任して以来、市政経営を担ってまいりました。この8年間、就任時に掲げた基本姿勢「清潔・公平・公正に徹し、隠し事のない市政経営」で「笛吹市」という名前にふさわしい清々しいまちづくりを進めることができ、心よりお礼申し上げます。さて国政では、与野党による対立が緊迫化

し、重要案件の審議が政局優先で滞っており、地方の事業執行にも大きく影響いたします。本市としてもその動向に注視し、市政経営に取り組んでまいります。本市石和町出身の辻村深月さんが、小説「鍵のない夢を見る」で、第147回直木賞を受賞され、市では栄誉を称え、第1号となる「市民栄誉賞」を授与します。

石和温泉駅周辺整備事業

駅舎は南北自由通路を含めた実施設計を進めており、要望を踏まえ、南口に上り・下り専用の、一人乗りエスカレーターの設置を考えています。

バイオマスセンター建設事業

27年度供用開始に向け、建設用地の取得、建設・運営事業者の選定に係る実施方針、要求水準書の公表や選定などを進めます。

砂原橋架け替え及び周辺道路整備事業

笛吹川左岸の橋脚3基は一部を残し完成、残り3基の橋脚も25年6月の完成を目途に発注する予定です。

多機能アリーナ建設事業

ワークショップを45人に拡充、昼の部夜の部の各班とも月1回程度開催し、施設の管理運営について、具体的な検討を重ねています。

八代ふるさと公園拡張整備事業

残りの用地の買収交渉を継続中です。東側エリアの第1期工事は8月に発注しました。西側エリアの一部も造成等の工事に着手できよう、取り組んでいます。

第一次笛吹市総合計画の主な事業

1 市長トップセールス

J A 笛吹と共同で、7月に東京や大阪、滋賀など関西圏でも、果実の消費拡大宣伝を実施しました。今後も桃・ブドウ日本一の「笛吹ブランド」確立に向け、高品質な果物をPRしていきます。

2 ごみ処理と環境への取り組み

境川町寺尾地内に設置するごみ処理施設に係る地元要望施設整備事業については、「基本協定書」等を県、一部事務組合、地元対策委員会などの関係者と締結する予定です。

3 保育所施設整備

石和温泉駅周辺整備事業に伴い、移転建て替えを行っていた石和第五保育所が完成の運びとなり、9月27日に竣工式を迎えます。様々な保育ニーズに対応できる機能を持ち、緑豊かな自然と調和した保育所として完成いたします。

4 国保特定健診・特定保健指導

国の示す24年度の数値目標は受診率65%、保健指導率45%です。市の受診率は40%台で数値目標と開きがあり、市医師会等のご協力

によるかかりつけ医からの健診結果の情報提供など、受診率向上に努めています。

5 教育施設の整備

小中学校教室空調設置事業は、先行発注した石和西小学校他6校が9月上旬に工事終了予定で、残り10校も冬休み中に整備を終了する予定で進めています。

6 市民協働の取り組み

地域振興促進助成事業の取り組みを紹介した、市民活動・地域づくり情報誌「よつちやばる通信」を全戸配布。24年度は既に12団体に360万円を助成し、地域や団体の特色を生かした、自主的で先進的な事業が広がることを期待しています。

7 第一次総合計画 後期基本計画策定事業

25年度から29年度の後期5年間の基本計画について、総合計画審議会、市民ワークショップ等において検討を進めています。

現在は前期を振り返り、各施策の展開方針等について、原案作成を行っています。

9月定例議会における荻野市長の行政報告を要約したものです。

人権擁護委員の 推薦を承認

神宮司 由則

石和町下平井235番地2

昭和24年7月9日生

岩野 秀夫

石和町松本504番地

昭和19年8月29日生

田中 千恵子

境川町石橋2302番地

昭和24年7月21日生

加藤 寿一

御坂町藤野木1420番地1

昭和25年11月9日生

平成23年度決算に対する監査意見

代表監査委員 飯田 三郎

7月3日から8月2日まで、監査委員3人で平成23年度の一般会計・特別会計決算15の会計および水道事業会計、春日居地区温泉給湯事業会計等について監査を実施した結果、正確・適正であると認められた。

5、工事の変更契約について
6、指定管理者制度の検証について
7、災害等に対する危機管理体制の強化について

源だ。職員の知識向上・コスト削減について、早急に検討を願う。
「農業集落排水会計」
起債の償還が主なものだが、効率的な施設の維持管理と繰入金金の削減に努め、収納対策も講じられたい。

「一般会計」

滞納額の縮減に向け真剣に取り組みいくつかの税・料金等については減少傾向だが、依然として厳しい状況にある。特に料金・負担金は、貴重な財源確保のため、明確な基準を設け、徴収体制の強化と新たな諸施策や、滞納額の縮減に努め、厳正な取り扱いをすることを望む。

「国民健康保険会計」
滞納世帯に対し明確な基準を設け、厳正なる対応と徹底した滞納整理対策を講じ、国保財政調整基金の必要額の確保に努めてほしい。

「介護保険会計」

収納率向上と不納欠損額縮減のため、給付の制限等を行い、不納欠損額の縮減に一層努められたい。

「介護サービス会計」

予防プランの評価・見直しと、サービスの提供で十分な成果を上げ、要支援者が要介護者にならない取り組みを望む。

「後期高齢者医療特別会計」

徹底した整理対策と、滞納者が相談しやすい環境整備や、収入未済額の縮減を望む。

「公共下水道会計」

受益者負担金および使用料は重要な財

「水道事業会計」

漏水で大量の水が無駄になっており、法的措置も含め有収率向上のために改善策が急務である。高額滞納者には法的措置も含め、断固たる姿勢と、公営企業部全体での取り組みを望む。

「温泉給湯事業会計」

未収金解消には督促状の発送、個別徴収の強化等、条例改正による法的措置も含め、未収金回収に努めること。

- 1、行政評価の促進
- 2、市債の効果・効率的な資金調達の窓口の多様化について
- 3、市税及び料金等の徴収率の向上について
- 4、随意契約、委託業務契約の適正な事務処理について

平成
23
年度

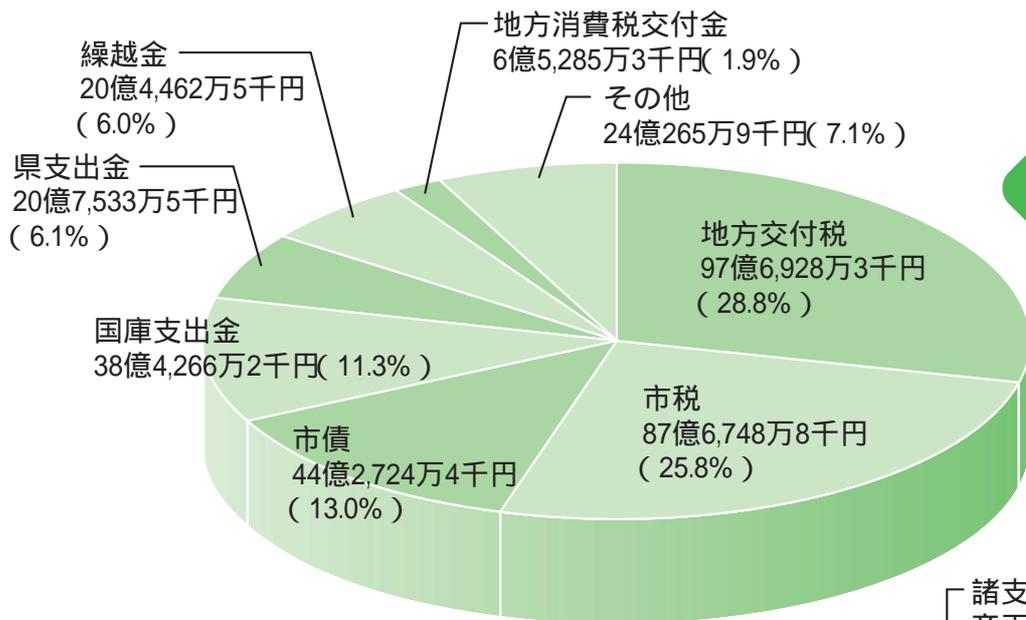
笛吹市の家計簿

一般会計決算

歳入 339億8,214万9千円

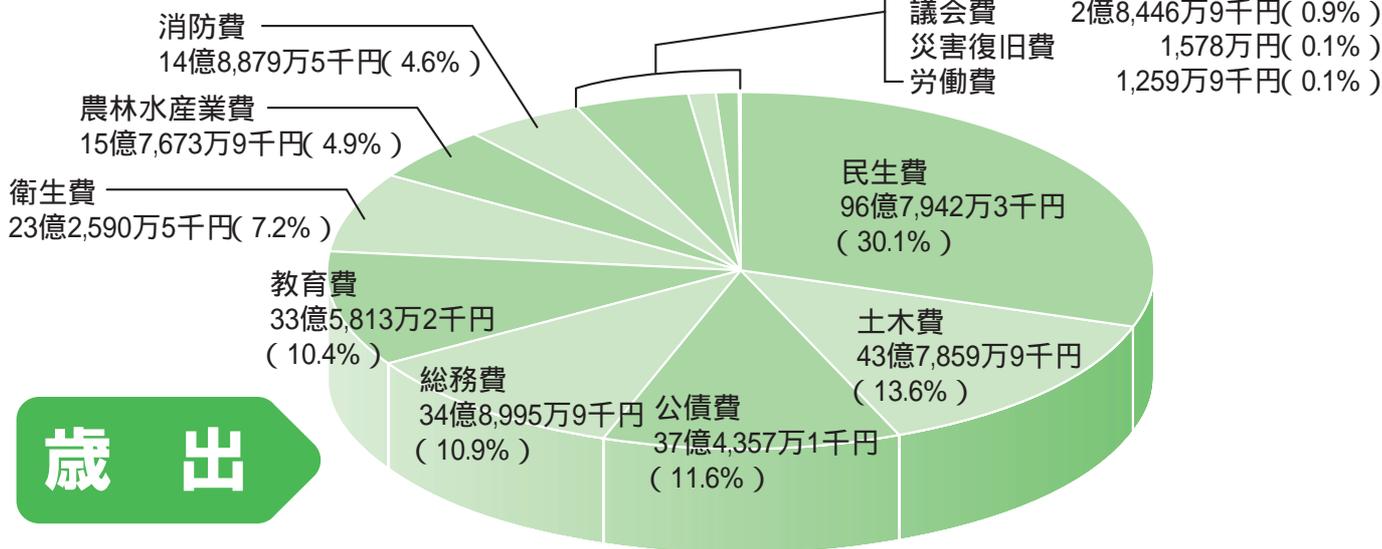
差引 18億4,342万2千円

歳出 321億3,872万7千円



歳入

構成比は端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。



市民1人あたりこのように使われました

民生費	1人あたり 135,976円	消防費	1人あたり 20,914円
土木費	1人あたり 61,510円	諸支出金	1人あたり 20,233円
公債費	1人あたり 52,589円	商工費	1人あたり 4,839円
総務費	1人あたり 49,027円	議会費	1人あたり 3,996円
教育費	1人あたり 47,175円	災害復旧費	1人あたり 222円
衛生費	1人あたり 32,674円	労働費	1人あたり 177円
農林水産業費	1人あたり 22,150円		

人口：平成24年4月1日現在(住民基本台帳人口統計表より)

平成23年度 特別会計の決算

(単位:千円)

国民健康保険会計		介護保険会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
国民健康保険税 23億1,308万8	保険給付費 54億6,621万7	介護保険料 8億7,771万3	保険給付費 46億 979万9
国庫支出金 23億9,110万8	後期高齢者支援金等 10億5,068万3	支払基金交付金 13億9,410万5	総務費 1億3,712万9
前期高齢者交付金 13億7,548万5	共同事業拠出金 9億4,055万7	国庫支出金 11億1,405万4	地域支援事業費 8,404万5
共同事業交付金 9億4,022万7	介護納付金 5億 101万2	繰入金 7億5,635万8	その他 2,673万8
その他 15億6,299万2	その他 3億 531万9	県支出金 6億8,469万5	
		その他 4,849万0	
総 額 85億8,290万0	総 額 82億6,378万8	総 額 48億7,541万5	総 額 48億5,771万1

介護サービス会計		後期高齢者医療会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
サービス収入 1,526万3	事業費 790万7	後期高齢者医療保険料	後期高齢者医療広域連合納付金
繰越金 326万1	総務費 637万3	3億9,708万5	11億4,765万1
		繰入金 7億7,368万8	総務費 2,439万3
		その他 331万6	諸支出金 76万4
総 額 1,852万4	総 額 1,428万0	総 額 11億7,408万9	総 額 11億7,280万8

公共下水道会計		農業集落排水会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
使用料及び手数料 5億4,099万7	公債費 18億1,145万5	使用料及び手数料 885万8	公債費 4,210万2
繰入金 17億9,290万3	下水道事業費 6億9,942万2	繰入金 5,351万6	農業集落排水事業費 1,705万7
市債 1億8,700万0	総務費 1億4,248万8	その他 331万8	総務費 19万5
国庫支出金 1億 563万8			
その他 1億6,608万0			
総 額 27億9,261万8	総 額 26億5,336万5	総 額 6,569万2	総 額 5,935万4

簡易水道会計		水道事業会計(収益勘定)	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
使用料及び手数料 340万4	水道費 1,377万2	営業収益 11億3,425万5	営業費用 12億3,217万3
繰入金 1,290万3	公債費 422万5	営業外収益 3億3,800万9	営業外費用 2億3,560万9
繰越金 1,255万4	総務費 1,024万3	特別利益 0	特別損失 4,435万5
その他 890万4			
総 額 3,776万5	総 額 2,824万0	総 額 14億7,226万4	総 額 15億1,213万7

水道事業会計(資本勘定)		春日居地区温泉給湯事業会計(収益勘定)	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
企業債 1億3,510万0	建設改良費 5億9,826万3	営業収益 6,419万2	営業費用 5,737万1
負担金 3,551万9	企業債償還金 4億 351万5	営業外収益 26万1	営業外費用 192万5
出資金 2億 787万9		特別利益 0	特別損失 73万9
国庫補助金 0			
総 額 3億7,849万8	総 額 10億 177万8	総 額 6,445万3	総 額 6,003万5

黒駒山外8財産区管理会会計		歳入	総 額	歳出	総 額
			4,477万2		397万5

9月 定例議会 市民の声
代表質問

9月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ち、22項目について市当局の考えをただしました。
以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 菅政クラブ 菅 修議員 ...8
- 正鶴会 中村正彦議員 ...9
- 正正会 風間好美議員...10
- 日本共産党 渡辺正秀議員...12
- 新和会 堀内文蔵議員...13
- 市民派クラブ 野澤今朝幸議員...14



菅政クラブ

菅 修議員

問 市の財政状況は

菅 修議員 財政健全化法に基づく4指標、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の3年間の推移と分析は、自主財源確保の取り組み、税・料金の収納状況は、合併特例債の起債状況と今後の活用方針は、各種基金の状況と今後の活用方針は。

答 健全化基準を大きくクリア

菅野正直市長 一般・特別公営企業会計すべて実質収支が黒字のため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は算出されない。
実質公債費比率は、21年度13・6%、22年度13・8%、23年度13・9%で、起債が許可制となる18%以下である。

将来負担比率は、財政調整基金などの積立てができたことで、21年度109・6%、22年度88・4%、23年度85・8%と大幅に改善されており、本市の4指標は、早期健全化基準を大きくクリアしている。

主たる自主財源、市税の現年度収納額は、21年度の91億5千万円から、23年度は84億9千万円と大幅に落ち込んだ。リーマンショックや大震災による景気低迷と都市計画税の課税延期で調定額が減少したことによる。企業誘致や産業振興、滞納整理の強化等、バランス良い財源確保を目指す。
23年度決算で合併特例債の借入総額は131億7千

万円、借入残高は104億円。発行期限が5年間延長され、ごみ処理施設建設、橋梁長寿命化にも活用可能となった。大型プロジェクト事業などの継続事業や新市の基盤整備に有効的な活用を図る。
基金は、合併時の持ち寄り額41億8千万円が、23年度決算時点で153億7千万円に増加した。各基金の目的を踏まえ、有効活用を図る。

問 大型プロジェクトは

菅議員 合併特例債有効活用の説明方針と、市民要望を施策に反映させる方策は、合併特例債活用の5年間延長により、地域要望に因應するための具体策はあるのか。
多機能アリーナ事業はどうか進めているのか。

答 情報開示 説明責任を果たす

菅野市長 大型施設については、市民ミーティング開催、広報等への連載周知などを積極的に行い、市道改良等は地区要望に基づき実施している。

地域審議会や行政区長会等の意見を積極的に聞き入れ、各種施策に地域要望を取り入れていく。
多機能アリーナは、現行施設の状況から多くの市民の利用が見込まれる。現在ワークショップを行い様々な提案をいただいている。「人健康、交流づくりの拠点」として活用したい。

問 指定管理者制度の検証と今後の方針は

菅議員 制度の目的、経費削減とサービス向上は図られているのか。

公園施設の管理、スポーツ施設の予約等の改善は、保育所施設について、指定管理施設と導入していない施設のサービスに、格差が生じているのでは。

答 効果は上がっている 拡大の方向

菅野市長 23年度、非導入に比べ57施設で、1億2千万円の経費削減を見込む。開館日の増加、時間の延長、特別保育の導入など効果が現れている。

公園施設は毎月の巡回指導年3回のモニタリングを実施。体育施設は予約等の連携を徹底する。

14施設中4施設に指定管理を導入。休日保育、完全給食など歓迎されている。市全体で向上に努める。保育二ーズを見極め推進する。

問 総合計画に基づく施策の実現状況は

寶議員 市長2期目の取り組みについて伺う。
「実り多い産業と人びとが集うまちづくり」は。
「環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり」は。
「個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり」は。

答 人づくりがすべての基本

荻野市長 石和温泉駅舎および周辺整備、砂原橋架け替え、多機能アリーナ事業など、市の玄関口や交流拠点の整備などの事業推進の礎を築いてきた。
医療費助成の6年生までの拡大、保育所建設や特養

老人ホームの開設、防災無線デジタル化統合、ハザードマップ作成、浄水場建設ごみ減量等々を推進してきた。

学校教育ビジョンの策定ふえふき文化・スポーツ振興財団の強化等を実施。子ども課の新設などを検討し、人材育成を進めたい。

問 合併協定項目の達成状況は

寶議員 合併から8年。66の懸案事項の達成状況と今後の課題は。

答 おおむね調整を終了

荻野市長 税や料金の統一、サービスの平準化など、おおむね調整が終了している。今後は、選択と集中の考え方を基本にオリジナルな行政経営を進める。
問 森林資源の活用策は
寶議員 笛吹市の面積の58%は森林。森林資源の公共施設建設への活用は。
森林整備と間伐材の活用は。

答 バイオマスボイラーを実証実験
荻野市長 23年度、御坂町下野原の公民館を県産材で建設。今月、木材利用促進方針を定めた。

今年度導入の森林環境税に伴う事業等を活用する。間伐材を木質ペレットに加した、バイオマスボイラーの実証実験に取り組み。

問 市のスポーツ振興は

寶議員 市民のスポーツ活動を活発化する施策は。
高齢者、子どもが参加で

きるスポーツの推進は。
答 軽スポーツサーキットを開催
荻野市長 初の試みとして「笛吹市軽スポーツサーキット」を開催予定。9月23日の石和を皮切りに、来年1月19日の境川まで地区ごとに実施する。

「女性トレーニング教室」や「親子運動教室」等を行ってきた。今後、他部局とも連携し、スポーツを中心とした健康づくりの習慣化を目指す。



正副会

中村正彦 議員

問 23年度決算状況と25年度予算編成取り組みは

中村正彦議員 23年度決算は11億8千万円の黒字。健全財政基盤の構築、計画的な行政経営の実現に努めた結果であり、大変評価できる。

財政の健全化をどのように進めるのか。
23年度の包括年次財務報告書作成の予定は。
合併特例債の発行期限が5年間延長された。25年度の施策、事業展開は。

答 健全財政と活力ある市を目指す
荻野市長 税など自主財源の確保、国や県の補助金・交付金の積極的な獲得および合併特例債などの有利な起債の活用によって、財源確保を図るとともに、各種基金の有効活用を考える。行財政改革を一層推進し、歳出抑制を図ることにより、財政の健全化を実現する。

包括年次財務報告書は、職員の財務書類に関する知識と活用方法の習得、市民への透明性の高い財政状況の公開を目的に作成し、3月に県内自治体として初めて公表した。本年度以降も継続的に、普通会計ならびに連結財務書類4表を中心とした報告書を公表する。財政課職員が年々研鑽を積み、充実した内容にしたい。

代表質問

25年度の予算措置は決定していないが、継続事業には引き続き特例債を活用する予定。本市は約387億円が活用可能であり、市の基盤整備を進める上で非常に有利な財源となる。財政状況を勘案し、ごみ処理施設建設、橋梁長寿命化など事業を精選し、有効活用を図りたい。

問 荻野市政8年の成果と課題は

中村議員 合併し8年が過ぎようとしている。公正・公平な立場で市政に取り組む市長の姿勢は高く評価する。市民の一体感も生まれてきたが、課題も山積している。教育環境整備について何うソフト面と、学校や生涯学習・体育施設の整備などのハード面は。

桃・ぶどう日本一の笛吹市においても、農家数の減少や高齢化は大きな課題だ。観光施策との連携が必要だ。農業政策・観光政策の成果と課題は。
環境基本計画、ごみ減量

共同プラン、地球温暖化対策実行計画等の環境政策について成果と課題は。
太陽光発電の現況と今後は。

答 人づくりこそまちづくり

荻野市長 ソフト面では、学校教育ビジョンの具現化に努めた。「標準学力検査NRT」の実施による「確かな学力」の定着、「学力向上研究委員会」の設置による「知・徳・体」のバランスのとれた子どもづくり、「指導主事の配置」による授業力の向上と諸問題への適切な対応、「市費負担教師の配置」によるきめ細かい指導等が促進された。中学校の生徒会役員が参加した「次世代リーダー育成研修会」は好評で、今年度も実施する予定。

各種の市民講座、小中学生囲碁・将棋大会、ソフトテニス大会、軟式野球大会等にも取り組んできた。
ハード面では、18年度は一宮西小学校屋内運動場の改築、22年度は春日居中学校柔剣道場建設、市内小中

学校太陽光発電設備設置と小中学校トイレ改修、23年度は一宮学校給食センター建設と一宮中学校耐震化などを実施。本年度は、小中学校教室空調設備設置と石和中学校の改築に取り組んでいる。また、図書館ネットワークの構築、テニスコートなどの改修等も実施した。担い手対策として、「新規就農農業後継者支援制度」を県内で初めて設け、これまでに46人を認定した。また、援農支援センターの設置など担い手農家等の経営支援も図ってきた。鳥獣害対策では431件の電気柵等の設置を補助した。農業生産法人化助成金は県内唯一の制度で、20法人が設立され、6次産業化への取り組み等意欲的に活動している。

観光事業に関する市全体の組織化に取り組み、トッブセールスの実施やインターネットなどの宣伝ツールを活用した情報発信など誘客に努めた。笛吹川観覧席の整備、ふるさと公園の拡充農産物販売所の設置、石和

温泉・春日居駅前整備も実施した。

ごみ減量53%、資源リサイクル、二酸化炭素削減等への取り組み、太陽光など新エネルギーの導入や「エコアクション21」にもチャレンジしている。



正正会

風間好美 議員

問 市長の選挙マニフェスト4年間の成果は

風間好美議員 「市民第一主義」によるまちづくりの展開は。

情報は現場にあり市民にあるを念頭に、市民ミーティングを開催するとあったが、具体的展開は。

県と連携した企業誘致の実現は。
合併してよかったと市民は感じているだろうか。市長の認識を伺う。

太陽光発電は、学校や庁舎等の23施設に設置し、806件の民間住宅に助成金を支出した。7月から始まった再生エネルギーの固定価格買い取り制度を活用した、公共施設屋根貸し発電事業を検討している。

答 将来像の実現に向けて着実に前進

荻野市長 平成16年、市民の知る権利を尊重し、情報公開先進都市を目標に、市政クイックアンサー制度を実施。18年、市民ミーティングを制度化し、パブリックコメント制度も導入した。各種計画・方針の策定においては、ワークショップを設け市民との協働による事業展開を推進してきた。



団体からの申し込みを受け開催する公募型と、市がテーマを決める対象限定型がある。多機能アリーナ説明会など合計31回、3、

193人に参加いただいた。9カ所指定した農工団地の24企業のうち7企業が合併以降の誘致。農工団地以外にも5社を誘致した。この4年間では、境川に飲料水の自動販売機会社、石和に食品企業、境川・御坂地区にIT関連会社や製造業の立地が図られた。現在、2社と協議中。

多くの施策において成果が表れており、将来像の実現に向けて更に前進していると感じている。市民の賛同・理解を得ているものと認識している。

問 大型施設整備は

風間議員 多機能アリーナ建設について、事業認定の課題と進捗状況は。

砂原橋架け替えと道路整備の進捗状況は。当初24億円の総事業費が約40億円に変わったが、経済効果は。

バイオマスタワー建設

の進捗状況は。事業費は。建設後のランニングコストは。市民との話し合いは。

答 広範な視点で検討

荻野市長 建物本体や外構の実設計画が進行中。建物の内容は本年9月末を目途に確定する予定。事業認定における課題の抽出は、実施計画に併せ協議中、事前協議を本格化させる中で解決していく。

23年度発注の橋脚3基は一部を残して完成した。上部工製作工事も9月中には完成の予定。残り3基は、25年6月の完成を目標に発注予定。周辺道路整備は26年度供用開始を目途にしている。

笛吹川左岸は圭林バイパスからのアクセス道路と、県道藤袋石和線への接続を計画している。笛吹スマートインターチェンジへのアクセスも検討している。右岸は県道白井河原八田線との接続を計画、西は新山梨環状道路のランプに直結する人・物の動きが増幅され経済効果は大きい。

事業の実施方針、事業者募集要項の準備中。本年度の用地取得を目標としている。建設費は7億円、用地費は2億円、収集運搬経費は年間7、200万円程度を想定している。公設民営方式のため、管理運営費の市の支出はない。現在、可燃物焼却は甲府環境センターで1トン当たり3万2千円。処理費は大幅に軽減されると考えている。地区説明会類似施設の視察等を実施した。今後は公聴会等広く周知を重ねる。

問 市民のための 機能的市役所を

風間議員 市庁舎の耐震改修の総事業費は。

改修後の使用可能期間は。改修による機能と利便性の向上は。

答 住民サービス窓口 を集約化

荻野市長 本庁舎は約6億円、南館は立体駐車場を含め約7億円、石和保健福祉センター改修と分室建築で約2億円、計15億円。合

併特例債が財源。

耐震診断によるとコンクリートの劣化もなく、外装補修を行うことで、耐用年数は約60年と推計。

改修に併せ、南館2階に住民サービス業務を集約する。今後、ワンストップサービスの導入を目指す。

問 市の滞納処分は

風間議員 23年度の市税および料金の滞納額と滞納処分状況は。

安易な不納欠損処理を防ぐ対策は。市独自の罰則規定を設ける考えは。

答 それぞれの法に 従い対応

荻野市長 市税が18億2千万円、国保税が9億1千万円、介護保険料が3、800万円、後期高齢者医療保険料が760万円、下水道使用料が1億円、下水道受益者負担金が4、100万円、保育料が4、900万円等。957件の差し押さえを実施、1億800万円分を換価した。

強制徴収ができない水道料が2億5千万円、温泉使用料が970万円、市営住宅使用料が2、800万円等。給水停止や明け渡し訴訟を実施している。

督促、戸別訪問の実施、差し押さえ、分納誓約時の事実承認に努め、時効による不納欠損を防ぐ。

市税等の完納を補助金給付や制度利用の条件とするものも多く、広義での罰則と考えることを検討したい。

問 本市に民謡を

風間議員 本市の特徴をとらえた民謡、「笛吹音頭」の製作は考えられないか。

答 市民の一体感は大切

荻野市長 キャッチフレーズやイメージキャラクターのフツキーの制定など、市民の一体感を醸成する施策として進めてきた。民謡について手段の一つとして承らせていただく。



日本共産党

渡辺正秀 議員

問 市民第一主義は貫かれたか

渡辺正秀議員 この4年間、市政運営のチエック、市民の願いを実現するための提案を行ってきた。しかし、市政の転換を図らなければならぬ抜本的な課題がたくさん残っている。

市長は「市民第一主義」というが、多機能アリーナ問題への対応をみると、建設の是非を問う住民投票の直接請求を否定するなど、市民の意思を第一にしているとは思えない。

新たな問題として、500万円で委託した災害廃棄物仮置場施設整備の検討報告書が、議員にも関係地域住民にも秘密にされている。

32年度以降の財政は厳しいと見込まれているか。大型施設建設見直しの考えは

答

市のソーラーパネル設置費は民間施設に比べ極端に高い。事業費の検証を実施すべきだ。本庁舎の改修工事費の総額は。本庁機能の将来像は。市は下水道建設事業を削減し経費削減を図ったが、全市的な排水浄化事業は遅れている。下水道事業の見直しは。市町村設置型の合併処理浄化槽事業を採用する考えは

市民との協働による市政運営を實行

荻野市長 多機能アリーナは、各種団体からの要望に基づき市民ミーティングや建設委員会での審議をいただき進めている。さらにワークショップは、公募で45名に拡充した。

関係4市で構成する八千

蔵地域等対策協議会で検討中であり、情報が先行すると誤解が生じる懸念がある。協議状況を踏まえ説明する。27年度から普通交付税は合併算定替えから段階的に一本算定化される。33年度には、現行基準では60億円ほどになると見込まれ、使途が限定されない一般財源が現在と比べ27億円減少する。厳しいが、選択と集中の行財政改革を進め、スケールメリットを生かした行政経営を行うことで、健全な財政運営が持続できると判断している。大型プロジェクト事業の実施で、償還期間中の公債費の増加は予測されるが、市の基盤整備に合併特例債活用は不可欠。大型施設は、事業計画に沿って進める。

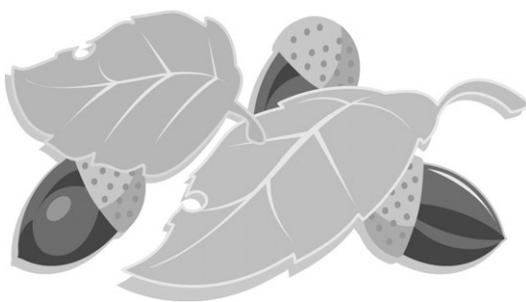
小中学校に太陽光発電施設を設置した。経済危機対策臨時交付金を利用し、省エネルギー対策、環境教育の推進、市内業者への発注機会を増やすことも目的とした。その後の技術革新、普及の進展で設置コストは大幅に下がっている。南ア

ルプス市の事例は、企業が市の施設に無償で太陽光パネルを設置し、売電利益で設置費用を回収するもの。参加企業の直接施工であること、社会貢献のアピールの要素等で費用は抑えられている。本市においても、同様な屋根貸し発電事業について検討している。

設計、工事費等の合計は約15億円。今回建設する分室は工事終了後に財政、国保、税務等が執務する。本庁舎は総務、経営政策、産業観光、建設関係部局を、南館と石和保健福祉センターは戸籍、国保、年金、税務、教育、上下水道等の部局を集約する。それぞれの庁舎には総合案内を設け、住民サービス業務の充実を図り、総合窓口化に向けた取り組みを行っていく。

19年度から公共下水道財政健全化計画に基づき事業量を見直している。現状、32年度までの事業認可計画下水道普及率は59%にとどまっており、19年度末の起債残高は246億円であったが、23年度末は214億

円まで減少している。市町村設置型の合併処理浄化槽事業は、導入妥当性について地域限定を受ける。現在の下水道計画区域には使えない。今後、公共下水道と個人設置型浄化槽を併用し、効率的な生活排水処理を行いたい。





新和会

堀内文蔵 議員

問 環境整備事業の進捗状況は

堀内文蔵議員 境川ごみ焼却場の29年度供用開始が決まり、環境影響評価もクリアした。進捗状況を伺う。県営次期最終処分場計画全般の進捗状況は。

完成を目指している。地域振興施設及び周辺整備も県・一部事務組合と本市の役割分担を協議し、遅滞ない事業の推進に努めている。

御坂町八千蔵、八代町高家地内の元焼却場予定地のストックヤード計画の進捗状況は。

県下27市町村で構成する総合事務組合が事業主体となり、建設から運営管理までを県環境整備事業団に委託し進める。30年度の供用開始に向け、すでに環境影響調査、基本設計は完了。

答 安全・安心な施設を目指している

荻野市長 株式会社神鋼環境ソリューション東京支社を事業者を選定、契約を締結した。基本設計および実施設計の準備中。都市計画の事業認可も受け、24年10月ころから用地買収の予定。取り付け道路は26年5月末

現在実施設計・用地測量および事業認可手続き等を進めている。26年度から造成工事と本体工事の予定。災害廃棄物仮置場施設整備の検討業務を5月に終えた。関係4市の協議が整い次第議会と地域に説明する。

してきた。現在は、運営コストやリスク管理、事業者の選定方法等を検討しており、27年度の供用開始を目指している。

問 消防本部広域化の将来構想は

堀内議員 山梨県下の10消防本部統合計画が諸般の事情で白紙に戻った。東山梨消防本部との合併構想も模索したようだが、これまでの経過と今後の見通しは。

答 広域化推進協議会の動向を注視

荻野市長 5月30日に開かれた第7回山梨県消防広域化推進協議会において、11月に国の新たな指針が示されるまでの凍結が決まった。東山梨消防本部との協議では、2次救急病院数が笛吹市の3に対して、東山梨管内には5病院あり、初期救急の充実のため、指令センターの共同運用の可能性を求めたが、合意には至らなかった。今後については、11月以降の県の広域化推進協議会の動向を注視し、知恵を出し

合いたい。

問 いじめ実態全国調査 教育委員会対応と答申は

堀内議員 平成23年10月に起きた、滋賀県大津市の中学2年生のいじめ自殺問題で、文部科学省は緊急実態調査の実施を全国の小中学校に通達した。調査への対応と笛吹教育の将来構想は。

答 知・徳・体の調和のとれた「人づくり」

山田武人教育長 本市教育委員会は、各学校に対し7月6日付けで指導の徹底を

促し、定例校長会でいじめ根絶の取り組みを指示した。8月1日付けの緊急調査の通知を受け、現在、学校と教育委員会できりまとめを行っている。

この調査とは別だが、「ふえふき教育相談室」の昨年の相談件数は2、697件あり、いじめ関連の相談は9件。いじめは問題が起きてからの対処療法的取り組みばかりでなく、子ども一人ひとりが自己肯定感を持ち、学校に行くのが楽しくなるような積極的な生徒指導こそが大切だ。



市民派クラブ

野澤今朝幸 議員

問 市長選に臨む荻野市長に問う

野澤今朝幸議員 荻野市長は6月定例議会において、10月に実施される市長選への立候補を表明した。市民が投票するに当たっての判

断材料にもなるような代表質問としたい。前回の市長選の公約、「市民自治の充実」と「行財政の健全化」の2項目は、ど

代表質問

のように実現できたのかを伺つ。

今回の市長選の争点は、多機能アリーナ建設問題は争点と考えているのか。

重点施策を完成に導きたい

荻野市長 基本方針の第一、

「市民自治の充実」の具体的な内容は、市民への積極的な情報公開、まちづくりへの市民参画の推進、市民と協働のまちづくり。4年間で、多機能アリーナなど12のテーマで市民ミーティングを開催し、3千人以上が参加した。市民の意見を施策に反映させるためのワークショップは、総合計画後期基本計画、景観計画等の計画、方針の策定や、多機能アリーナについて開催した。こども議会も毎年開催し、市の将来を担う児童生徒の視点からの提案を参考にしている。また、各施策の現状を把握し、今後の方向性を判断するためのまちづくり基礎調査を毎年実施し、各地域・年代にまたがる市民の意識を施策展開

の参考としている。

第二の「行財政の健全化」では、自律した職場経営は、選択と集中の考えに基づき優先度を定めた効率的な事業の実施を確立した。自主性の高い行財政運営は、歳入では自主財源を的確に見込み、歳出では月次決算による予算の適正管理と、使い切り予算の廃止など抑制を実現した。これらの改善により、合併の7年間で107億円の基金を積み立て、財政健全化基準を大幅にクリアしている。

行政運営の透明化と成果実績については、先日の日本経済新聞社・産業地域研究所の自治体評価調査で、透明度が全国810自治体のうち、89番目という高評価を受けた。効果が出るまでには時間がかかるが、直面する課題を検証・分析し、市民の負託に応えるべく取り組みでできた成果と認識している。

前回の市長選のマニユフエストの実現を念頭に、この4年間、全力で市政に当たってきた。これまでの継続・

維持を図る施策もあるが、10年後の将来像の実現のために新たに取り組み始めた事業もあり、その多く道半ばである。

特に、選択と集中の観点から、重点的に推進してきた施策の中でも、合併特例期間である今するべき社会基盤整備事業については、着実に完成まで導きたいと考えている。

これまでの市政運営を発展させ、徹底した行財政改革による健全な行財政基盤の構築と、自主自立の弾力性のある財政の実現により、なすべき施策を確実に遂行できる、十分な体力を持つ自治体にしたいと考えている。市の目指す将来像や、実現に向けた取り組みについて思いを訴えていきたい。市民の皆さまにはこれらのことを総合的にご判断いただきたい。多くの市民の理解を得られるものと信じている。

市議会へのご協力に

感謝します

私ども議員一同は、11月13日の任期満了に伴い、笛吹市議会議員の職を退任いたします。

笛吹市が誕生し第2期の議会議員として、市政の発展と住民福祉の向上など、「市民第一主義」を常に念頭におき、市長とともに歩んできました。また、議会自ら議会改革に取り組み、道半ばのところもあります。議員定数の削減、開かれた議会運営など、一定の成果をあげることができました。

最後になりますが、4年間市民の皆様方の温かいご支援とご協力をいただき、衷心からお礼と感謝を申し上げます。ごあいさついたします。

笛吹市議会議長

小林 始



問 水痘、おたふくかぜ予防接種に公費助成を

答 必要経費は1200万円程度



亀山和子議員
(日本共産党)

亀山和子議員 水痘・おたふく風邪は感染力が強く、90%の子どもが罹患するといわれている。ワクチン接種は任意で自己負担も多く、未接種が多いのが現状だ。
水痘・おたふく風邪の接種効果の認識は。

公費助成の場合、必要経費は。ワクチン接種で削減が見込まれる医療費は。

どのくらいの費用削減が図れるか。荻原明人保健福祉部長 集団生活前の予防接種が、重症化や負担の軽減に効果的と考える。

公費負担の場合、1回の接種で1、200万円程度。

ウイルス性疾患の医療費は15、000円程度。ワクチン接種で医療費削減が見込まれる。

罹患に伴う医療費が、予防接種費

用より安価の場合もあるが、社会的視点で評価すると予防接種による費用のほうが高額といわれている。

問 介護保険報酬改定の現状と課題は

亀山議員 生活援助の時間短縮で利用者の困難、サービス減、負担増など実態把握は。

訪問介護事業所の影響は。厚労省の通知が生かされているか。

答 満足度など

現状把握に努める

荻原保健福祉部長 事業者連絡会からの状況報告と共に介護認定更新時の訪問調査で、チェックシートを利用し、サービス利用状況・満足度や調査者の所見などにより現状把握に努めている。

事業者連絡会を、介護保険サービス提供の適正化と情報交換などを目的に年5回開催、今後も事業者連絡会を通じ、事業所等の状況把握に努める。事業者連絡会を通じ制度の周知等を行う。

問 地域経済浮揚の具体策は

答 市内業者を優先する



大久保俊雄議員
(笹政クラブ)

大久保俊雄議員 低迷を続ける地域経済・産業の活性化・浮揚のキーワードは、「地産地消」だ。

市役所の消耗品等、市内業者の占める割合は。

地産地消の具体的取り組みと、積極的推進策は。

大型建設プロジェクトの地産地消の具体策は。

山下真弥総務部長 消耗品費は2億9千万円、市内業者の割合は60・2%。地域経済活性化につながるよう、発注担当者の指導を行っている。

市内4カ所の農産物直売所を整備、地元農産物の地産地消を推進し、JA・関係機関と協働する。

地域活性化のため、入札参加資格の地域要件の中に、市内に本社・本店があることとし、市内業者の育成を考慮している。

問 辻村深月さんの直木賞受賞と人材育成策は

大久保議員 市出身の辻村深月さんが直木賞を受賞した。功績をたたえサポーターする具体策は。

受賞の原点、図書館のさらなる充実具体策は。

読書を通じ人材育成と教育立市を目指す考えは。

答 市民栄誉賞を授与活躍を見守る

曾根敦子教育委員長 10月の市制施行8周年記念式典で、市民栄誉賞を授与し功績をたたえたい。以前から各図書館にある辻村さんのコーナーや、応援メッセージの回収ボックスも用意し、活躍を見守りたい。図書と利用者をつなぐ業務を通じて、頼られる公共図書館、学校図書館づくりを目指す。小学校新入生への図書館カードプレゼント企画など読書に親しむ環境づくりに取り組む。

問 学校教育諸課題を問う

答 犯罪に巻き込まれないよう啓発に努める



北嶋恒男議員
(市民派クラブ)

北嶋恒男議員 従来の避難訓練にこだわらず、気象庁の緊急地震速報(テープ)を使用し、避難訓練を行う考えはないか。

全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果に基づき、子どもの体力向上への対応は。

犯罪・いじめ・不登校の実情と対処方法は。

新採用教員のメンタルヘルス、対応策は。

国・県・警察等の通学路の点検等の取り組みは。

仲澤和朗教育部長 予告なしの避難訓練や、休み時間中の避難訓練等、実践的な訓練を実施するようになってきた。緊急地震速報を受けての訓練は、各学校の避難訓練に想定の一つとして取り入れていきたい。

各校で、休み時間での縄跳びやマ

ラソン、体育の授業での体力アップの準備運動の採用など、体力向上に取り組んでいる。また、運動内容の動画配信や、教員対象講習会などの取り組みの周知もしている。

情報機器を使いたいじめが広がり、本人の知らないところでの「誹謗中傷」等、憂慮している。インターネットの正しい使い方をはじめ、携帯電話等の怖さも合わせ指導し、警察との学習会など、犯罪に巻き込まれないよう啓発に努めている。

文科省の調査では、22年度の病気休職者は8、660人で、うち精神疾患によるものが5、407人62.4%を占め、本市でも数人の先生が休職している。授業力向上アドバイザーによる学級経営等の悩み相談や一人ひとりの先生方の状況把握に努めている。

市内小中学校から抽出された危険箇所89力所のうち49力所について、学校、保護者、道路管理者および地元警察署による合同点検を行っている。緊急性・実現性を勘案し、可能な限り早急に対策を行いたい。

問 男女共同参画推進の展望は

答 参画社会の実現を目指す



新田治江議員
(正正会)

新田治江議員 笛吹市男女共同参画推進条例が23年9月に公布された。今後の展望を聞きたい。

男女共同参画都市宣言は。

男女共同参画審議会の設置状況は。

河野修市民環境部長 第2次男女共同参画プランに掲げる推進に必要な情報収集・研究に取り組み、男女共同参画社会の実現を目指していく。

男女共同参画審議会の意見を伺い、検討する。

8月に委嘱した9人の審議委員で審議を行う。

問 高齢者が元気に活躍するまちに

新田議員 高齢者の元気は地域の活性化であり、国保医療費の減少にも貢献する。市はどのように取り組んでいるのか。

答 老人クラブの活動や会員の加入を支援

老人クラブの現状と打開策は。老人クラブの出番はあるか。社協に専用の車を配備できないか。「やってみるじゃん」との関連は。

荻原保健福祉部長 市の会員数3、779人、クラブ数85クラブ。後継者不足が原因で、減少傾向にある。社協と連携しながら、若手会員の加入促進、地区への働きかけなど、活動や会員の加入を支援していきたい。

老人クラブの役員の方々が、委員に委嘱されるなど、市の事業に積極的な参画をお願いしたい。

専用車両配備は、関係機関・部局と研究したい。

地域の高齢者が要介護状態にならないよう、健康チェック・体力測定等を実施。老人クラブ・区長や民生委員にご協力いただき、事業を進めたい。

問 合併特例債について問う

答 特例債総使用額は330億円と推計



中村善次議員
(正正会)

中村善次議員 有利な起債とはいえ、多機能アリーナ建設、バイオマスタウン構想等の大事業を行う場合、重要度の見極めが重要だ。

17年度より実施した単年度事業名と使用額は。

継続事業名と年度ごと金額、今後の使用計画は。

23年度までの特例債使用額は。

特例期限内の総使用額は。

特例債の返済計画は。

中長期における地方交付税の動態と見込み額は。

風間和仁経営政策部長 境川児童館駐車場730万円、石和東小学校児童館4、420万円、金沢憩いの森780万円、本庁南館改修4億2、440万円、御坂児童センター8、640万円、電算室統合8、100万円、一宮西小学校屋内運動場5、

720万円、かすがい東保育所2億1、480万円、八代ぼたるの里2、390万円、春日居水防倉庫170万円。

継続は道路新設改良、農業基盤整備および消防施設整備の3事業。使用額と今後の計画は、道路新設改良

の活用総額25億1、590万円。今後の起債計画額は15億2、690

万円、農業基盤整備の活用総額15億870万円、起債計画額8億7、

380万円。消防施設整備の活用総額3億4、330万円、起債計画額

2億1、710万円。

合併特例債活用総額は131億7、490万円。

約330億円と推計。活用期限が5年間延長され、合併特例債が有利な場合、活用総額は増加する。

民間金融機関の場合、据え置きせず翌年度から元利金を償還。一般起債は10年と20年償還。

普通交付税は26年度まで概ね80億円台後半を推移。33年度の普通交付

税総額は60億円程度の見込み。

問 行財政改革の成果と展望は

答 実効ある改革断行が必要



志村直毅議員
(笹政クラブ)

志村直毅議員 決算の評価は。

進捗状況が「やや遅延」の補助金等の見直しについて検討状況は。

報告で「再設定」とした普通建設事業見直しの具体的な改善策は。

行財政改革推進の課題と展望は。

風間経営政策部長 23年度決算は、

実質単年度収支の黒字、基金積立額や財政健全化4指標の数値面だけでなく、健全な財政経営が図られた。

実績報告書等で使途状況を検証し、基本方針に則り交付。市民目線や公平性を重視している。

早期の着手と完了が、財政的にメリットがあると判断。大規模建設事業は多額な予算繰越も発生すること

から、本改革項目は再設定が必要。

最終的には27億円ほど交付税削減が予定されており、行財政改革に鋭意取り組んでいきたい。

問 市内河川の管理・改修は

志村議員 渋川や馬場川等、県管

理河川の堆積土砂や雑木等、改善要望が毎年出されている。市の対応は、

長寿命化計画による673橋のライフサイクルコストの縮減効果は。

河川管理、施設等への地域住民の要望対応、市民満足度の向上は。

渋川排水機の更新、市の対応は。水防計画に示された、水防上も改修が望まれる県管理河川の対策は。

答 県に積極的に要望していく

齊藤寿建設部長 可能な限り積極的に要望する。

一般型管理の架け替えが約187億円に対し、長寿命化型管理である

修繕計画では約96億円。

地域住民の要望を優先し、鋭意整備を進めたい。

濁川の影響が大きい。伏越水門の機能等も検討。緊急性高いものから積極的に要望。

総務 常任委員会

9月10日から20日までの

5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、24年度一般会計補正予算2件、23年度一般会計歳入歳出決算認定1件、契約締結1件変更契約の締結1件の計6件を審査し、賛成全員5件賛成多数1件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

総務部所管

Q ゴルフ場用地の評価方式変更による固定資産税減額の内容は。

A 1カ所は山林比準方式他の3ゴルフ場は取得方式で評価。24年度評価替えに伴い、不動産鑑定評価による山林比準方式に評価方法を統一したための減額。

Q 自主防災組織防災整備費の補助金は。

A 区長会で対象品の一覧を配付。発電機・投光器・防災倉庫・毛布や、防災マツプ作成にかかる用紙・印刷代も対象、20万円が上限。

経営政策部所管

Q 定例議会庁舎間配信システムで、既存のシステムに付け加える内容は。

A 議会中継システムはアナログ方式で、耐用年数を過ぎている。信号を変えるシステム機器の購入および構築費用。

Q 境川バスは町内だけの巡回運行だが、石和温泉駅等につなげないか。

A 年少者対象にスクールバス機能も備えており、時間的に厳しいが検討する。

市民環境部所管

Q 石和なごみの湯ろ過材交換工事の増額理由は。

A る過材の交換時期は施設ごとに異なる。不純物発生の報告を受け交換した。

Q 住基カードは住民票・印鑑証明だけの発行だが、他の証明の発行予定は。

A 戸籍謄本・抄本、付票発行を検討中。システム改修に2千万円かかる。

消防本部所管

Q ふれあいペンダントの設置数は年々増えているか。

A 年間40件程度の救急要請ペンダント279基、ふれあいセンサー6基。

Q 住宅火災警報器の普及率が低い。啓発は。

A 市の設置率57・1%、関係団体等の協力で、設置促進を図る。



住宅火災警報器

教育 厚生 常任委員会

9月10日から20日までの

5日間、委員会を開催。付託された条例の改正1件、24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、23年度一般会計決算認定1件特別会計決算認定4件、広域連合規約の変更1件の計12件を審査し、賛成全員6件賛成多数6件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

保健福祉部所管

Q 照明LED化の機器内容・金額、全庁取り組みは。

A 今回は主要照明のみで節電や職場環境整備。設計段階で精査し、ランニングコスト等を抑える。

Q 救急情報キットは予算増だが、実績と活用例は。

A 23年11月から実施、キットの中身は個人情報で、冷蔵庫の中に備える。250世帯

石和第二保育所改修工事現地視察



に配付したが、活用情報は今のところない。

Q 震災避難者受け入れ事業の送迎バスは市内業者か。

A 市内バス協議会と契約市内業者に協力いただいた。市民環境部所管

Q 国保税収入が減るが、22・23年度の総所得は。

A 22年度186億円、23年度157億8千万円、28億2千万円の減。

Q 合併後8年、春日居地



建設経済 常任委員会

区のみ東山梨環境衛生組合に加入しているのはどうか
A 現状しかないが、29年度に境川ごみ処理場が完成すれば一緒になる。

教育委員会所管

Q 体育館暗幕・屋上防水シート
の緊急改修の経緯は
A 故障や破損で雨漏りやほころびがあり支障がある。井戸ポンプ改修は運動会時や冬場にも散水。

Q 自転車通学生徒がヘルメットをかぶる規則だが、石和中の補助はないのか。
A 石和中は希望者のみ購入補助。他の4校は自転車通学生徒全員に、1年の購入時に補助。交通安全を指導。

9月10日から20日までの5日間、委員会を開催。付託された条例の改正2件、24年度一般会計補正予算2件

特別会計補正予算3件、保護財産区特別会計補正予算9件、水道事業会計補正予算1件、温泉給湯事業会計補正予算1件、23年度一般会計歳入歳出決算認定1件

特別会計歳入歳出決算認定3件、保護財産区特別会計決算認定9件、水道事業会計決算認定1件、給湯事業会計決算認定1件、市道認定1件、市道廃止1件の計35件を審査し、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

Q 鳥獣害防止対策強化事業費の内容は。
A 鹿被害防止柵を90cmかさ上げ。場所は御坂町十郎・

産業観光部所管
Q 鳥獣害防止対策強化事業費の内容は。
A 鹿被害防止柵を90cmかさ上げ。場所は御坂町十郎・

藤野木・新上宿

Q 上芦川地域原風景復活保存事業の、イラストマップ作成計画の今後は。
A 内容検討と進捗状況を見極め、地域全体を網羅したマップを予算計上したい。

Q ふるさと大使事業で渡した名刺の使用状況、活動は把握しているか。
A 市の宣伝をお願いし、年1回100枚配付。名刺にクーポン券付きを渡し、公営温泉等で利用。

建設部所管
Q 旧ひうが跡地買い戻しの内容は。
A 商業地域のため地域振興等を考え、民間業者に売却予定。

Q スマートIC周辺整備事業の内容は。
A 市道4015号線の測量委託料・用地費・補償費を追加補正。ネクスコ・県と協議し年度内着工の予定。

公営企業部所管
Q 農業集落排水事業のポンプ修繕費の内容は。
A 耐用年数が過ぎ、36基のうち21基を修繕。

Q 耐用年数が過ぎ、36基のうち21基を修繕。
Q 広瀬ダム使用権の減価

償却費はいつ終了するのか。
A 償却期間は55年で残り49年間。

市議会議員

研修報告

平成24年8月10日(金)



8月10日、県市議会議長会議員合同研修が行われ、「厳しさを増す地方財政の今後」と題し、関西大学大学院の小西砂千夫教授が、税と社会保障の一体改革の議論の経過からみる、これからの地方財政について講演されました。消費税込のうち、国分は高齢者三経費(年金・医療・介護)に加え少子化対策に充当するとして政府方針や、増税による税込13兆円の地方分、交付税分および地方単独の保健福祉等の事業についての解説から、地方財政や事業への課題も得られた研修でした。



人に尽くし地域を理想郷に



春日居町（主婦）
田中 保江

春日居町「生き生き活動」の中、「信玄口ツク隊」に入り10年になります。平均年齢74歳、素晴らしい指導者に恵まれ、良き仲間と友情の絆を結び、不安だった体も健康になりました。生涯青春の心意気で楽しい活動をしています。衣装は手づくり、思いっきり「ハデハデ・キラキラ」、身に着けるだけで心うきうき、年も忘れてしまいうです。活動も笛吹市が合併してからは、各種の地域のイベントに参加させていただき、その折々に、市内の素晴らしいところ、多くの友人づくりもでき、感謝しております。ボランティア活動も「老人ホーム」「養護学校」「デイサービスセンター」等々広範囲となり、人との出会いがたつむぐ思い出さず、宝物をいっぱいいただいています。なかでも忘れられない出会い。某「老人ホーム」でのこと、終わりに椅子で百歳の方が、満面の笑顔で代表に花束を下さったのです。あまりの尊い姿に大歓声！ありがとう！また、お逢いしましょう！涙涙の友情と幸せの輪を広げることができました。

体力が続く限り励まし励まされ、人間革命をさせていただきます。笛吹市の魅力をもっともつと学びアピールしていきたい。うらやましがられるような「笛吹市」をめざし。今日より「新たなスタート」、市民の1人として。

子どもたちに良い環境を



御坂町（主婦）
風間 裕子

登校途中の小学生の列に車が飛びこんだ二コースの後、子どもたちに付添った途中のこと。

空き缶でサッカーをしながらの児童に声かけをしたが、注意も聞かず、大型トラックの行き交う道路を追いかけっこをしながら行ってしまった。交通事故にあうことも心配であったが、人の話を素直に聞けない子どもを淋しく思った。

5月、御坂町井之上区恒例の子どもクラブ「親に感謝する会」が開かれた。6年生を中心に歌、呼びかけ、感謝の手紙の贈呈など、心温まる会であった。その中にある空き缶グループがいた。笑顔で友だちと仲良く活動する姿がとてもうれしかった。会の後、「おばちゃん、この間はごめんね」と言いに来てくれたことに深く感動した。

忙しい、忙しいで過ぎていく毎日の中で地域のいろんな行事も簡素化される傾向にあるが、大切にしたい行事もあると思う。あの子どもたちも「親に感謝する会」の活動を通して、多くの人に支えられて生きていくこと、感謝することの大切さを学んだと思う。子どもたちの健全な育成を考えたとき、子どもたちが良い体験のできる場面（環境）を、たくさんつくってあげたいと思う。



笛吹市が誕生し8年、多くの施策・事業に取り組んできました。市民第一主義を念頭に、新市の基本計画と将来像に揚げる第一次総合計画に基づき、各施策の相乗効果を期待し、市民と一体となり、みなぎが誇れるまちづくりを目指してきました。

昨年3月11日、私たちは未曾有の大震災を経験し、地震とそれに伴う災害で多くの方の命が失われました。

復興には少なくとも数十年が必要で、大切な何かを失った人の悲しみ、不安を抱え日常生活を送る人の苦悩に対し、何をもちて本来の復興とするのかを考える時、さらには永い時間が必要なのだと思われまます。

今、エネルギー問題を中心とした社会構造の変革が叫ばれています。しかし、様々な社会問題を生み出し続ける人間自身の生き方が問われ、国や地方行政、関連企業の対応に問題があることも事実です。

今期、笛吹市議会も9月26日に閉会、いろいろな問題を抱え、次の議会へと委ね、議論を重ねていただきます。と思います。

議会広報編集委員、事務局の皆さんには新たな取り組みの中、読んで貰える議会だよりづくりに専念いただきました。今後とも、笛吹市議会だよりをよろしくお願ひ申し上げます。

(寛 修)

INTOYO INTERFACE

12月定例議会は7日から19日までの予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。